

TIC NEWS

vol. **66**
2003.1

(財)とやま国際センター
〒930-0856 富山市牛島新町5-5
インテック・タワー111 4F
TEL(076)444-2500
FAX(076)444-2600
E-mail:tic@quartz.ocn.ne.jp
URL:<http://www.jeims.co.jp/tic/>



海外技術研修員、韓国ビジネスインターン生、留学生の皆さん

TICより ~ 新年のご挨拶 ~

新年あけましておめでとうございます。旧年中はとやま国際センターに対しまして多大なご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

県内在住外国人の数も1万人を上回り地域の国際化が進展していく中で、当財団としても国際化を推進すべく様々な事業を行って参りました。通訳や日本語ボランティア養成講座などの国際交流人材育成、在住外国人の生活の利便性の向上を目指した出前相談やライフハンドブックの発行、留学生の住宅確保を支援する留学生住宅確保支援制度の創設、異文化・国際理解教育の一環として「とやま国際塾」、「国際協力県民講座」、「イングリッシュ・アドベンチャー」のほか各種語学講座なども開催しました。さらに本年4月の開校を目指してTIC日本語学校の整備に努めているところです。

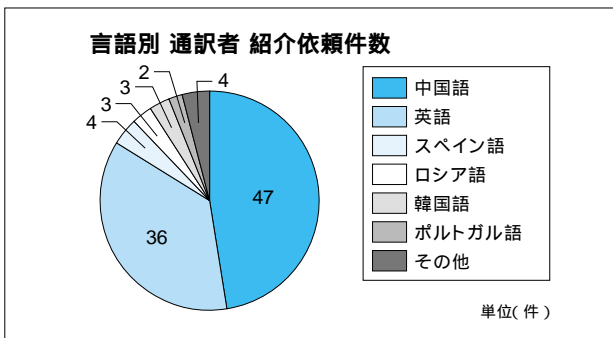
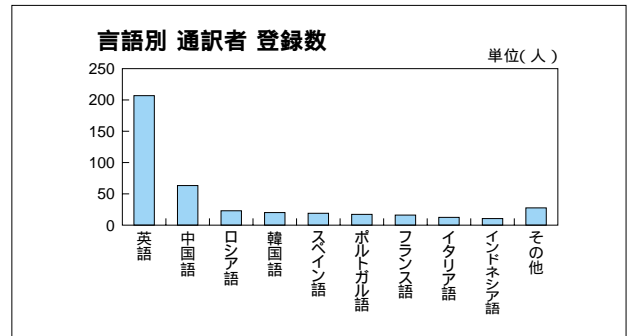
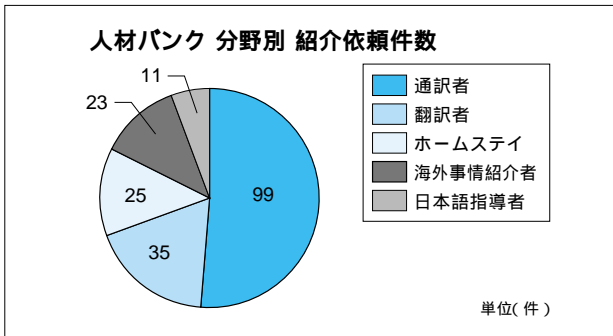
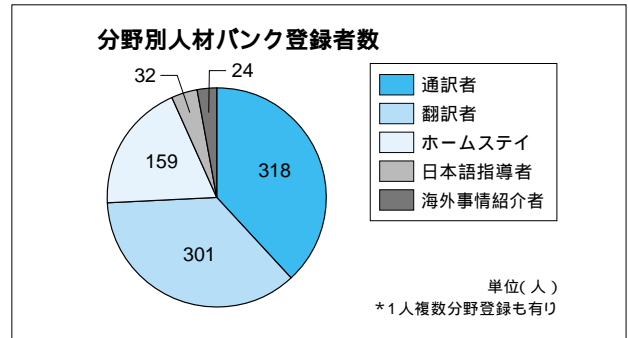
今年も地域の国際化の推進に一層の努力をして参りますので変わらぬご指導・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

国際交流人材バンク

国際交流人材バンクが発足して1年になります。現在、外国人を含む493人が登録され、さまざまな国際交流・国際協力の場で活躍されています。

国際交流人材バンクは通訳者、翻訳者、ホストファミリー、日本語指導者、海外事情紹介者の5つの分野からなり、さまざまな国際交流活動に協力していただける人材を国籍を問わず募集、登録し、紹介してきました。

この1年の実績では、通訳者の紹介依頼が多かったことがわかります。英語の通訳者の登録が208人と圧倒的に多いのに対し、中国語の通訳者の紹介依頼が多くありました。これは富山県と中国との交流が盛んに行われていることを示しています。



統計は平成14年1月からの数字です。

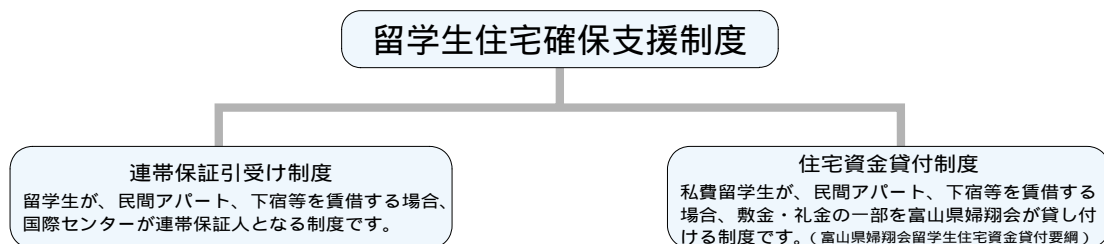
また、学校教育において新しく総合的学習「国際理解教育」が導入されたことから、海外事情紹介者の紹介依頼が多くあります。

そして県内在住外国人の増加に伴ない、日本語指導者を求める声も高まっています。

今後とも皆様の知識、経験、熱意、思いやりをご提供いただくとともに、地域の国際化のために人材バンクを多くの皆様にご活用していただきますようお願いします。

留学生住宅確保支援制度スタート！

「留学生住宅確保支援制度」は、留学生の受け入れを促進するため、当財団が、富山県、富山県婦翔会、県内の大学・短大・高専、宅地建物取引業の団体などと本制度との連携協力のもとに、留学生がより安定した居住環境の中で安心して学業生活を営めるよう支援する制度です。詳しくは当財団までお問い合わせください。



～とやま国際センターでは国際交流の人材育成に向け、こんな講座を開催しました～

保健・医療通訳ボランティア養成講座 - ポルトガル語編

日 時：平成14年11月23日(土)～24日 10：00～15：00

場 所：富山県民会館

参加者：34人



実際の通訳場面を想定したロールプレイを行う参加者

在住外国人の増加に伴ない保健・医療分野での通訳者の養成が叫ばれています。県内外国人のうち約37%を占めるブラジル人への保健・医療サービスを充実させるため、ポルトガル語の通訳ボランティアを対象に保健・医療に関する講座を開催しました。県における保健医療施策、ブラジルと日本の保健医療文化の違いについて説明を行った後、実際の保健・医療現場における通訳のロールプレイを行いました。

ブラジル人は日本の保健・医療サービスに対して、治療方針や治療費、薬の説明などを事前に受けることを期待していることや、日本の医療保険に加入していない人がいる状況についても意見がありました。

富山県地域日本語支援コーディネータ研修

日 時：平成14年9月27日(金)～28日(土) 9：30～16：30

場 所：富山県国際交流センター研修室A

参加者：32人

(社)国際日本語普及協会(AJALT)と共催で開催した今回の研修は、地域での日本語支援コーディネータ(地域社会で日本語支援をはじめとした外国人支援、異文化理解を促進する人材)の育成を目的として行いました。

まずは、日本及び富山県内の外国人の状況、コーディネータに求められる資質、新しい日本語教育の手法について学びました。また、県内の日本語支援機関が各活動内容を報告し、お互いの悩み、共通の問題点などについて話し合いました。

研修内容

1 日 目	日本国内に居住する外国人の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全国在住外国人の状況 ・コーディネータ研修の趣旨 ・コーディネータの役割 ・富山県在住外国人の現状 	AJALT専務理事 岩見宮子氏 とやま国際センター
	地域コーディネータに求められる能力	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化コミュニケーション能力 ・対人関係能力 	上智大学 教授 渡辺文夫氏
	地域の日本語支援と日本語教育	日本語指導法と教材、教具	TIC日本語学校開設準備室 主任教員 田村綾子氏
2 日 目	外国人支援体制をいかに整えるか	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県在住外国人の状況と支援体制について ・外国人支援の課題と問題点 ・受講者ディスカッション 	とやま国際センター オブザーバー：AJALT
		医療支援について	東京都立駒込病院 医療ソーシャルワーカー 高山俊雄氏
	地域日本語支援活動とネットワークの必要性 - 先進県の事例から学ぶ		東海日本語ネットワーク 代表 米勢治子氏





森山 アリエル マリオ さん
(アルゼンチン)
(有)松浦園芸、砺波農業改良普及センター：園芸

シクラメンの栽培を勉強しました。研修旅行では愛知にも行きました。山の上にも温室があり、びっくりしました。アルゼンチンでは見たことがありませんでした。アルゼンチンの家では花の販売をしていましたが、国に帰ったら栽培もしてみたいと思っています。研修先の松浦さんをはじめ、みんなに親切にもらったことに感謝しています。



上田 みやべ カレン さん
(ブラジル)
(株)三四五建築研究所：インテリアデザイン

ブラジル人は日本の伝統に神秘的なイメージを持っています。日本建築のエッセンスをブラジルに持ち帰り建築に生かすことが夢です。また会社での社員の集中力と完璧を及ぼす姿勢は勉強になりました。

ブラジルでやっていた剣道を富山でも続けました。ホームステイで訪れた家庭の子供と一緒に剣道を始めました。嬉しかったです。



シルバアルベルト
ドス サントス カルロスさん
(ブラジル)
(株)スズキ部品富山：品質管理

品質管理の研修をしました。測定の方法について丁寧に教えてもらい感謝しています。

日本のゴミ分別には感嘆しました。ブラジルに帰ったら市役所に是非提案したいです。

雨や曇りの日が好きで、富山の気候はとても自分に合いました。大好きな五木ひろしのコンサートに行ったことが一番の思い出です。



尾崎 カマラ アリネ さん
(ブラジル)
アイアンオー(株)
：コンピュータグラフィックス

日本で見た全てのものがデザインのインスピレーションとなりました。和紙やクレヨンを使ったデザインの手法をブラジルに帰ったら試してみたいです。会社の人と昼ご飯を食べながら話したことが楽しかったです。

富山は安全で静かで住むには本当に良い所でした。生活を共にした研修員の皆さん、研修先の人達のことを忘れません。



マウ ショウコウ
注 小紅さん
(中国)
富山県立中央病院：看護

糖尿病療養と末期患者の緩和ケアを研修しました。生活習慣病である糖尿病治療は中国でも今後重要な課題となってくると思います。

富山の財産はたくさんの人との出会いです。そして立山の雄大さと利賀村などで見られる繊細な伝統文化の美。近代産業と自然の共存がまさに富山にありました。



チョウ マイ
張 鋭さん
(中国)
富山県環境科学センター：環境

大気、水質の測定などを研修しました。日本一と言われていた富山の水質には驚きました。深層水の活用なども興味深かったです。

環境科学センターの皆さんとは仕事の後、ボーリングや卓球、パーティーなどを楽しみました。「そうなん？」などの富山弁も覚えちゃったよ。

利賀村であった「とやま国際塾」は本当に心に残っています。



メナセ アルメア
モイセス アルト

富山県農業技術センター

たい肥の作り方、ました。国に戻ったとして学生や農民にいとと思います。

富山ではサッカー和太鼓にも挑戦しま中から来た人と会っでた。それにしっったです。



の研修 の思い出

ビジネスインターン生～

入機関で研修を重ねた
研修成果を国に帰って
ことを期待します。
くださった受入機関の
うございました。

ウロさん
(エクアドル)

：野菜栽培

原料分析を勉強し
ら、大学の研究者
この技術を伝えた

チームにも入り、
した。ここで世界
ことができ、幸運
も日本語は難しか



ルハグバ バトスレン さん
(モンゴル)

富山県食品研究所：食品加工

食品の一般成分の分析などを研修しました。生物を使った実験なども行いました。

研修で沖縄に行きました。日本に来て初めて海を見ることができ、感動しました。でも温泉に入るのはとても恥ずかしかったです。

研修先の方、国際センターの人に感謝したいです。ホームステイで一般家庭を訪れたことも大変良い思い出になりました。



モストヴォイ アレクサンドロヴィッチ
セルゲイさん
(ロシア)

富山国際職藝学院：造園

研修テーマは日本庭園でした。ロシアに戻ったら日本庭園の歴史と構造について論文を書き、研究を重ね、いずれは大学で造園、ランドスケープデザインを教えたいです。造園のプロになりたいのです。富山に来たのは夏ですが、豊かな自然と人々が明るくて親切なことに驚きました。



サム スージンさん
(韓国)

富山建築・デザイン専門学園

：インテリアデザイン

CAD等を使ったインテリアデザインを勉強しました。椅子づくりの研修中にケガをしましたがその傷も誇らしく思います。

私の辞典に「マジ」とか「うまい」という言葉はありませんでしたが、友達が教えてくれました。富山のお祭りは、どうして韓国にはないんだろうと思えるくらい素敵でした。



オソル エンフトヤー さん
(モンゴル)

富山県立中央病院、富山県薬事研究所

：薬剤・薬理

病院のシステム、薬の調合などについて研修しました。病院の素晴らしいコンピュータープログラムはモンゴルの病院に戻ったら早速導入したいです。

富山は雨がたくさん降ります。冬場は5時前にはもう暗くなります。モンゴルでは11時近くまで明るいですがからびっくりしました。大阪、長野などに行くことができたのも良い思い出です。



タラセンコ ゲンナーディエヴィチ
ユーリイ さん
(ロシア)

富山県環境政策課：環境

廃棄物処理、自然保護をはじめとする環境政策を研修しました。ロシアに戻ったら富山で集めた研修資料を学び続けたいと思います。また夢を実現できるくらいの日本語能力をつけたいと思います。

富山の秋が大好きでした。紅葉はまるで絵のように見えました。

富山県とロシア沿海地方の友好が続くことを祈ります。



リム キョンピョン
林 敬賢さん
(韓国)

富山建築・デザイン専門学園

：コンピューターグラフィックス

photoshopやillustratorを使ったコンピューターグラフィックス、Flashでのアニメ作成を研修しました。大好きな「となりのトトロ」のシーンも題材にしました。

富山に来て驚いたのは水をそのまま飲むことです。また立山に囲まれたきれいな環境にびっくりして本当に羨ましく思いました。



青年海外協力隊帰国報告会

と き：平成14年11月10日（日）
ところ：富山市民プラザ AVスタジオ
報告者：久保 健さん
派遣国：モンゴル（アジア）
職 種：バスケットボール
派遣期間：平成12年4月～平成14年4月
平本 裕子さん
派遣国：ニカラグア共和国（中米）
職 種：食品衛生
派遣期間：平成12年4月～平成14年4月

昭和40年に発足した青年海外協力隊は、11月30日現在の帰国隊員が延べ21,130名に上り、そのうち富山県出身の帰国隊員は既に187名に上っています。

「自分の持っている技術を開発途上国に役立てたい!」「自分の力を試したい!」そんなあふれんばかりの情熱を持って青年海外協力隊に参加した富山県出身の帰国隊員の久保さんと平本さんが、現地での活動や人々とのふれあいなど、異文化の中で得たかけがえのない体験について報告されました。



モンゴルの民族衣装を身にまとい報告する久保さん

モンゴルの主都ウランバートルにある国立教育大学付属体育大学でバスケットボール、コーチングの指導をしてきた久保さんは、練習嫌いだけれど負けず嫌いなモンゴル人の性格に多少苛々しながらも、スポーツを純粋に楽しむモンゴル人と一緒に楽しく有意義な活動をしてきたことを語ってくれました。

また、ニカラグア共和国のボアコ市で市営市場の食堂や肉屋などの衛生指導や一般市民に対する衛生知識の普及活動をしてきた平本さんは、ラテンアメリカの情熱的な人々に囲まれて生活した2年間を振り返り、衛生観念を人々に植え付ける苦労や、物がないうちで衛生状態を少しでも保持することの難しさや大切さを、スライドを見せながら語ってくれました。



今回はセネガル共和国（西アフリカ）から届いた城真紀子さん（福岡町出身）のお便りをご紹介します。

隊員活動と日常生活あれこれ

植林という職種で派遣され、ティエス州の森林局に配属されています。森林局の仕事とは、小学校、村、また個人を対象として植林の普及、木の伐採の許可書発行と不法伐採や低木林火災の取締り、街路樹の植林と灌水などがありますが、私は特に植林の普及に関わっています。

朝はコーラン（イスラム教徒がセネガルの人口の92%を占めています）か、鶏の鳴き声で目覚め、夜は水シャワーを浴び、夕ご飯を食べ、ゴザの上で星を見ながら眠りなったら床に着きます。

休日は家でゴロゴロ体を休めているか、セネガル料理を学ぶためセネガル人宅と一緒にご飯作りをしています。教えてもらったセネガル料理やジュースを作って、セネガル人に食べてもらっています。

富山の皆さんへメッセージ

この村には水が十分になくて野菜が作れず、また市場から遠いので食べ物も乏しく、皆いつもお腹がすいた状況です。水に不自由しない日本。そして白米がおいしい富山。「水がある」それだけで生活は潤うのだと思いました。しかし村人は井戸の水汲み、手洗いの洗濯、家事、農作業、放牧と、子どもからお年寄りまでよく働きます。どうしてこんなに貧しい食事でこんなに働けるのかと頭が下がる思いです。



城 真紀子さん

（青年海外協力隊13年度1次隊）
派遣国：セネガル共和国（西アフリカ）
職 種：植林
派遣期間：平成13年7月～平成15年7月

青年海外協力隊・シニア海外ボランティアの募集は毎年春・秋の2回です。ご質問・お問い合わせ・ご相談は、お気軽に国際協力推進員の村永まで。

とやま名誉大使からの便り

サイ ガイ
崔 凱さん

平成12年夏、世界こども演劇祭で来富
出身国：中国

現在の仕事について

遼寧省文学芸術世界連合会の副主席として文化活動に携わっているほか、作家活動をしています。

近況について

去年、中国遼寧省美術代表団を率いて「第1回国際友好美術交流展とやま」に参加させて頂きました。今年9月に「中国鉄嶺国際民間芸術祭」が開催されました。富山の舞踊芸術団も招聘に応じて参加しました。

富山に対する感想

富山県は文化芸術、スポーツ、環境保護など幅広い分野に優れており、我々が学ぶべきことがたくさんあります。ユニークな特徴をもち、すでに日本のひとつの名所となっていると思います。

私はかつて5回富山を訪れたことがあり、富山県民との間には深い友情の絆を感じています。中国でも演劇、舞踊団の富山訪問を紹介したりして富山のことを常にPRしています。



ケン・レウン・アレクシス・ジョン・ホーイさん

平成13年度 滑川高校 語学指導助手
出身国：シンガポール



近況について

ボストン大学でジャーナリズムを専攻しています。

ボストンの冬は長いですが、季節というものは人の生活や精神的健康におおいに関係があると実感しています。

富山に対する感想

山、海、川、田んぼなどの美しい風景、そして海産物、米、新鮮な水などにも恵まれています。人は少し内気ですが、一度うちとけると温かいです。

富山は信号が多いです。運転する時にイライラしたのを覚えています。高速道路料金も少し高いですね。

もう一度日本に来ることができる としたら何をしたいですか？

富山の食を楽しみ、立山の頂上に登り、黒部ダムに行きます。

イ コ
李 悠さん

平成11年 富山大学教授
出身国：韓国

現在の仕事について

江原大学で経済を教えています。

近況について

現在、大学内で国際奉仕協力団というサークルの指導教授をしていますが、去年は本校の敷地内に世界各国のボランティアが集まり合宿しました。日本からも九州の青年12名が来ました。今年の2月は本校の生徒12名が大分県を訪れ、その学生や県民と山林保護活動をしました。

富山に対する感想

いつも静かで、きれいで、人情味溢れるところでした。県民が日常生活、良質の文化を楽しめるようインフラ施設が整っていましたし、また行政官僚の公共精神にも感嘆しました。そして、外国との親善、交流活動に配慮していることも肌で感じました。富山で1年を過ごせたことを誇りに思っています。



パステウ Pastel

お菓子感覚、そしてビールと共におつまみ感覚でよく食べられるパステウ。ブラジルでは屋台もたくさんあり、家庭の数だけパステウの味があります。今回ご紹介するのはピザ風味の簡単パステウ。餃子の皮で作ってみましょう！

ブラジルからの
海外技術研修員
アリネさんお薦め料理！



～作り方～

1. 具をさいの目に切り、オレガノ、オリーブオイルで味を整える。
2. 餃子の皮の周りに水をつけ、中に具をつめ、フォークの裏の先で押して閉じる。
3. 中火できつね色になるまでふんわり裏表を揚げる。
4. タバスコなどをかけて食べる。

～材料～

- 餃子の皮
- トマト
- チーズ
- ベーコン
- オレガノ
- オリーブオイル

中身は
ひき肉、エビ、卵
などでもOK!



中学生、高校生の皆さん TIC訪問!

今年が高岡南高校、富山大学付属中学校、月岡中学校、堀川中学校、舟橋中学校、大門中学校の皆さんがセンターを訪れました。

国際交流員の母国の文化や習慣などについて活発な質疑応答がされました。



月岡中生のまとめたTIC訪問記録



大門中の皆さん

TICからのお知らせ

これからの行事予定

1月

- 25日(土) ・外国人出前相談(氷見水産センター)
- ・国際協力県民講座(")

2月

- 15日(土)、23日(日)
- ・保健・医療通訳ボランティア養成講座 - 中国語編
- 23日(日) ・国際協力県民講座(新湊公民館)
- 中旬から ・富山県民海外派遣事業「県民の翼」報告展 (富山県国際交流センター)

3月

- 8日(土) ・青年海外協力隊帰国報告会(富山市)

利用しませんか?

- ・世界27ヶ国の国旗、卓上旗、万国旗を貸し出しています。
- ・国際交流、国際協力に関する企画展示をされたい方に展示スペースを開放しています。
- ・国際交流に関する募集広告などが掲示できる“国際交流情報掲示板”があります。



10月に行った富山県・ロシア沿海地方友好提携10周年記念展の様様

ライブラリー新刊情報!!

ブースでDVDも視聴できるようになりました!

図書

- ・NHK地球たべもの大百科 全14巻
- ・ヨーロッパ、ワールドカルチャーガイド 全39巻

ビデオ

- ・世界民族音楽体系アジア篇 全15巻

DVD

- ・イラン、ベトナムなどの映画を入手しました!

